



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成19年 1月 19日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ タケベチヨウデントウケイノウデシヨウホゾンカイ

団体名 建部町伝統芸能伝承保存会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者 職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☐ イ 地域課題掘り起し ☐ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり ☐ オ その他
事業名称	建部地域伝統芸能伝承事業
事業実施小学校区・地区	北区建部町 建部小学校区 竹枝小学校区 福渡小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 3回目 / 【 27年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 本会は、建部地域の14団体で構成しているが、各団体に目を向けてみると、年々継承者(演舞者)が減っている状況にある。ここ数年で女人禁制を解除して、 <u>全ての団体で女兒(女性)が参画した。</u> 建部地域を人口統計で見ると、平成28年10月末現在、総人口5,674人(平成19年1月末6,663人)で年少人口8.5%(9.8%)、生産年齢人口48.71%((55.2%)、高齢者人口42.8%(35.0%)となっており、 <u>少子高齢化への対応が課題</u> ではあるが、限られた中で如何に伝統芸能を継承していくかが鍵となっている。転出者はもちろんであるが、地域外の方々の参画も必要な時になっている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 本会は、建部地域の各地区で伝承される伝統芸能について、保存と伝承を推進するための活動を行っている。 建部地域の神楽は、県中央部特有の獅子神楽で、古いものでは江戸時代中期より継承されている神楽もある。棒遣いは、古武道竹内流の棒術の所作を取り入れられたとも言われている。 建部地域は少子高齢化に加え、人口流出による集落機能が低下した中山間地域ではあるが、この素晴らしい伝統芸能を後世に伝えていくために、 <u>子どもたちへの指導や地域内外に向けた広報活動などを行うことを目的とする。</u>

事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 【伝承活動】 ※構成団体ごとで・子どもたちへの指導、指導者の育成。 ※転出者(特に経験者)へ参画を呼びかける。 ・神楽・棒遣いは、一人ではできないので、とにかく人員確保が先決。 【広報活動】 ※地域内外で開催されるイベント等へ積極的に出演しPRする。 ・今まで秋祭りだけの発表を、もう少し広範囲に展開する。はっぽね桜まつり、建部町納涼花火大会、建部町文化祭、御津獅子舞フェスタ、桃太郎まつりなど。 ※ソーシャルメディアを活用した広報戦略によりPRする。 ・ホームページ「たけべ新聞」をメインにして、全国へ向けて情報発信していく。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 【伝承活動】 - 子どもたちが参加するためには、「楽しい」とか「興味」とかが必要となる。 - 発表の場づくりも必要とされる。 ・子どもたちが大人になっても参加し続けることで、<u>継続した伝承活動</u>が図れる。また、一人でも多くの子どもたちが参加することで、将来に向けて<u>指導者候補が確保</u>できる。 【広報活動】 ・現在、県指定重要無形民俗文化財が33件あり、このうち2件が建部地域にある。昭和32年指定の志呂神社御供と平成6年指定の建部祭りである。 ・どちらも神楽と棒遣いが奉納されているが、地域外へは情報発信されておらず、来訪者(観光客)はほとんどいない。広報活動することで、<u>来訪者増はもちろんのこと、建部地域への関心度アップ</u>が図れ、ひいては<u>都市農村交流や移住・定住</u>のきっかけとなれば、素晴らしい活動として継続できる。
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 これまでは、町内にある保存会が一堂に会する場はあったが、全体で事業の在り方を検討するような場にはなっていなかったが、この区づくり事業を推進する中で個々の保存会にある課題を共有し、考えるような場ができつつある。いろいろな出演の機会があっても1つの保存会では人数が揃わないとかいろいろ難しいことがあるが、2つ、3つの保存会が協力して当たればできることにもなるので、皆でこの区づくりの場を通して課題解決に当たる場を作る。 こうしたベースを創りながら「情報発信」を充実させていく。ソーシャルメディアを活用した広報活動によって、全国どこでも誰もが閲覧できるし、閲覧者との情報共有を目指す。

協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 建部町3学区連合会、建部町公民館、建部町観光公社、建部町観光協会、たけべ八幡温泉、めだかの学校との連携を大切にし、建部の伝統文化を効果的に発信できるよう情報交換を密にしている。
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 本事業においては、伝承活動と併せて広報活動を行うこととしている。 昨年4月に立ち上がった「たけべ新聞」を通して「建部地域の神楽・棒遣い(仮称)」のページを設けて発信する。また、市や県など行政のホームページとも相互リンクを推進する。
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲(単位町内会等)での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 御津地域で「獅子舞継承活動事業」が実施されているが、歴史的にも古くから伝承されている建部地域も同様な活動と、かつ建部地域ならではの先進的な活動を行うことで、<u>お互いの地域での相乗効果</u>が図れる。 建部が御津へ、御津が建部のイベント等へ出演するような場ができればとも考えている。当保存会は町内3つの地区で構成していることにより、地域的な特徴や課題などについて話ある場ができています。
前年度からの見直し 拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 ① それぞれの保存会で購入している消耗品や修繕、新しい衣装づくりなどの揃え方などを出し合い、より省力化やコスト削減などができるようにしたい。 ② 色々な出演要請に応えたり、PRできるような方向を目指す。 ③ 広報活動の充実を図る。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 - ア 構成団体ごとでの次の新しい演武者(子供たち)の確保と指導 - イ 地域内外のイベント等への出演 - ウ ホームページ“たけべ新聞”のサイトから適時情報発信 - エ 練習風景見学ツアーなど都市農村交流事業の実施 ② 資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： ・ 過っては、開設祝い場に呼ばれて郷土芸能を披露し、交通費から謝礼まで頂いていたが、今は弁当代しか出ないけど、ということでなかなか要請に応えられなくなっている。 ・ 町内には、寄付を受けられるような企業もないために区内の財力に頼るしかない。

その他
PR
したい
点

古来より引き継がれてきた伝統文化、そして未来へ引き継いでいく伝統文化は、地域地域によって異なっており、その継承方法も千差万別である。

先にも記しましたが、建部地域だけでなく、御津地域や岡山市の他地域で伝承されている伝統芸能とのネットワークを広げ、いつの日か「岡山市伝統芸能大会」が企画されることを願うし、積極的に呼びかけて行きたいと思う。

事業スケジュール （企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	役員会 はっぽね祭
5月	総会
6月	
7月	練習準備会議
8月	建部町文化祭事前打合せ会 練習・指導開始
9月	
10月	建部町文化祭事前打合せ会 秋祭り
11月	建部町文化祭 地区別反省会
12月	建部町文化祭反省会 役員会
1月	臨時総会
2月	会計監査 めだかの学校の環境学習で棒遣いの演武披露
3月	

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	414,000	430,000	
実施団体負担金	408,000	432,000	@36,000×12団体
参加負担金			
協賛金			
寄附、他収入	6,000	2,000	
計	828,000	864,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	492,000	492,600	*草鞋足袋 @1,200×170人=204,000円 *足袋 @1,200×120人=144,000円 *棒代 @4,000円×20本=80,000円 *太鼓バチ、鐘バチ、布等 50,000円 *事務用品(封筒、用紙、インク等) 14,600円
食糧費	43,300	43,200	会議、練習時飲み物 @90×10人×12団体×4回=43,200円
印刷製本費	0		
燃料費	0	5,000	ガソリン代 *郷土芸能大会 @1,000×5台=5,000円
光熱水費	0		
通信運搬費	3,000	8,000	会議・連絡調整郵送料 8,000円
広告料	0		
手数料	153,000	155,000	*クリーニング代 @1,000×50人=50,000円 " @1,400×50人=70,000円 " (小物)@700円×50=35,000円
使用料	4,000	5,200	練習会場使用料 車使用料(郷土芸能大会)
原材料費	100,000	100,000	リボン代、布代、毛糸代等衣装仕立て用
委託料	0		

報償費	30,000	50,000	指導者謝金 @1,000×10回×5人
保険料	2,700	5,000	傷害保険 @40×1日×125人
旅費	0	0	
計	828,000	864,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)(補助金額が20万円を越える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	・	☐ 希望しない
-----------	------	---	--------------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

--

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。